



図書館マージャーニュー新聞

令和4年度

2022年5月発行

号外vol.1

若松商業高等学校図書館

朝の時間を有意義に使いましょう！

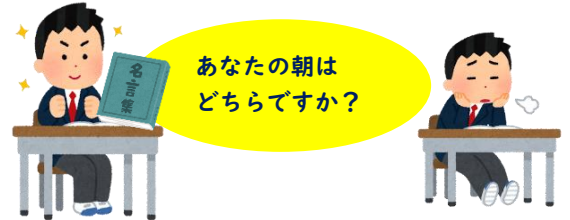
登校してから朝のSHRまでの時間はゴールデンタイム。

毎日10分でも1ヵ月続ければ、約3時間

何かをすることができます。

今年から朝読の時間は無くなりましたが、この時間を読書にあててみませんか？

読書が苦手な人でも読みやすい本が若商図書館にはたくさんあります。1棟3階の図書館に来て、本棚を眺めてみませんか？



ぜひ卒業までに1冊は読んでおきたい

「進路の手引」掲載本

先日配布された進路の手引はもう読みましたか？
p31～・p64～に掲載されている本を探しやすいように図書館進路コーナー近くへ集めてみました。読んでおくと、進学・就職の際に必ず役立ちます。自分の興味のあるものを手に取ってみましょう。



旅する読書



本を読んでいろいろなところへ旅しよう

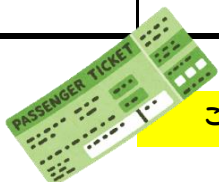
第1便



行先	福島県会津若松市
書名	不思議な現象解決します 会津・二瓶漆器店
著者	広野未沙 福島県出身

記念すべき第1回は「福島県会津若松市」です。皆さんご存じの会津若松市ですが、小説ではどんな町になっていると思いますか？（特に七日町付近の描写がリアル）登場するお店などは架空のものですが、モデルになったお店を探したりすることもできます。

七日町のお店で働く主人公は、付喪（つくも）神が見える漆器店の跡取り。入院した叔母さんの代わりに漆器店の「裏の窓口」を引き継ぐことになります。会津の伝統工芸品と付喪神のエピソードも妙にマッチしています。会津若松の良さを改めて実感できる1冊です。



この本は若商図書館にあります